

創刊・平成24年4月  
編集「会報編集委員会」  
加藤順一 鈴木奎三郎  
山田興太郎・岡田吉郎

# 練稲Press

創刊特別号

発行者・関博之  
発効所・練馬区豊玉南3-6-  
2春日ビル2階  
練馬稲門会事務局

## 発刊にあたって

## 会長・荻野 隆義



今年も桜は忘れることなく、春を運んできました。大震災から1年が過ぎ、日本人の素晴らしい意気込みで被災地にも復興の槌音が高く響いています。さて、当会はこの春で創立35年。23区の中でも、その活発な活動実績が評価され、全国から注目を集めています。昨年も「山歩き会」「酒楽会」「パソコン教室」などが発足し、サークル合計は19になりました。大切なのはタイムリーに活動状況を全会員に伝え、コミュニケーションを強めることです。新しい「練稲Press」は、各サークルの活動を横につなぎ、一層の絆を強めます。ホームページに加えて新しいメディアとしてご愛読ください。創刊にあたって会員皆様のご健勝をお祈りします。

## 山歩き会・南アルプスへ

「苦しい思いをして山に登るなんて真っ平」なんて言わないで。山頂で深呼吸、山々を眺め、桜吹雪、新緑、紅葉。そして鳥の声。何処かに置き忘れていた青春が蘇る。山では皆仲間。山ガールに「コンニチハ」と挨拶。下れば温泉が待っている。ビールも一味変わる。6月で発足2年。奥武蔵はほぼ制覇しました。毎月第一木曜に山行計画を立てて素早くホームページに写真と成果を掲載する。4月からはリーダーは毎月交代。夏には南アルプスに挑戦します。1月は秩父札所巡り、2月に湯河原「梅見山」3月は秩父「武川岳」4月は「筑波山」、5月に「武甲山」。6月の上高地は「徳本峠」。

### 「山は逃げなくとも、年は逃げて行く」

あこがれの「北アルプス」穂高連峰を目の前に見る絶景の地。あのウエストーンが、ここで3000メートル級の山々をみて涙したという。「あるピークを越したらゆっくりと安全に下山に向かわなければならぬ。これがルールである。」ウエストーンの言葉を護りメンバーは一層の精進を心がけます。



2月の「花見山」は寒かった。雪も降った

## 麻雀部・四地区合同大会3連覇

平成24年2月12日「第3回近隣4地区稲門会(練馬・杉並・武蔵野・豊島)合同麻雀大会」が三鷹駅北口の雀荘ファミリーで開かれました。強豪練馬は自信を持って対戦。団体戦では予想通り、連覇を達成した。個人戦では惜しくも3連覇ならず。今回は40名が参加。次回は8月の予定だが50名近くの大会で会場の確保と運営のノウハウ(戦績集計等)の確立が課題。三鷹会場は12卓が限界。数年内に「大会場」を確保して、100名を超える「名物大会」にします。参加を歓迎します。

## 旅行部会・円高は絶好のチャンス

旅には絶好のシーズン。この円高も追い風です。好機を見逃す手はありません。発足当時は海外旅行が主流でしたが、高齢化は争えず?目と身体は「国内」に向けつつあります。やむを得ぬか。平成19年の「韓国・清州島」以来「黒部ダム」「沖縄離島」と国内へ。昨年の「高野山・華岡青洲の里」は大好評でした。

東日本大震災もあって、いささか「足踏み」状態だった「旅行部会」も春と共に「旅こそ人生」だ!

新しく会員になってぜひ一緒に「旅に出ましょう」。「台湾」「中国」「韓国」と近くの国々を見て回るのも良し。「こんな旅行がしたい」と言う方はどしどし企画を持ち込んでください。敏腕の「旅男」もそろっています。田口、石川まで連絡を。



## 歴史ハイキング部・ウォーキング愛好会が合併・新発足

### 第一回ウォーキング「神田川・文京区播磨坂」周辺を周遊

桜咲く平成24年4月、これまで須藤一彦会長のリードで続けられてきた「歴史ハイキング部会」が、新設の「ウォーキング愛好会」と合併しました。「歴史ハイキング部会」は毎年正月に「七福神巡り」でおなじみでしたが、それに加えて、幅広い健康志向の「ウォーキング」へ合併しました。勿論「七福神巡り」も引き継ぎます。新しい「ウォーキング愛好会」(斉藤誠一会長)は、最初は「東京を見なおそう」と言う趣旨で、都心をホームグラウンドとしながらも、次第に郊外にまで広げる意欲的なサークルです。一段と充実した活動に皆さんの参加をお待ちしています。

### 桜咲くのを待ちかね出発!

第一回の「ウォーキング愛好会」は、まず「お花見」と、文京区「播磨坂」「神田川」を散策。足を伸ばして「野間記念館」芭蕉ゆかりの地である「関口芭蕉庵」で句碑を見学、ゴールは心の故郷早稲田へ。お馴染みの「金城庵」で新発足を祝って「乾杯!」。

5月には、すでに竣工オープンした東京スカイツリーを見上げながら隅田川の橋渡りと江戸東京博物館で展示中の「都市と塔の物語」を鑑賞、人と塔の歴史を訪ねます。周遊のコースをどんどん広げます。アイデアをお待ちしております。



桜はまだ咲いていなかった

### 写真クラブ・フィルム派も大健闘



昨年春・新宿御苑での撮影会

### 名人揃いで作品評価は厳しく

デジタルカメラの出現で、写真愛好者の数も、質も大変化。月に1回練馬稲門会の事務所に作品を持ち寄って鑑賞。現在会員は13名。作品を前に「良く映っている」「もう少し」と和気藹々の評。技術は進歩して、感性が問われる。トリミングの難しさ、技術的なアドバイスと、約2時間半のミーティングは楽しい。デジタル専門かと思うと間違い。フィルムの良さを作品で見せてくれます。季節感を養うには写真は絶好のメディア。身の回りの被写体に目を向ける面白さを実感するでしょう。写真に興味のある方を大歓迎します。自然を見る目や、日々の暮らしも豊かになります。振るってご参加ください。

### 囲碁部・練馬本因坊は夢ではない

近頃は「本因坊」より「コンピューター」の方が強い?ともっぱらな噂。最近では武宮元本因坊が負けた。我が練馬稲門会・囲碁部は、そんな世の中におもねずに健在。

毎月第三土曜・練馬囲碁倶楽部(練馬駅東側・シャムロック3階)で練習。半年の成績で賞金が出ます。年2回(春・秋)豊島囲碁会との対抗戦。

1月には総会を兼ねた「合宿」と「練習試合」今年は湯河原の「杉の宿」で行いました。

### これからの激戦は見ごたえが

オール早稲田囲碁祭(日本棋院で)・首都圏の稲門会が参加して盛大に開かれる。昨年は6月4日に行われて、Bブロックで第3位、Fブロックでは見ごとに優勝、実力を見せつけました。秋には大学囲碁部のメンバーも加わっての「個人戦」や、「全早慶囲碁大会」も開かれる。初心者も歓迎です。

考える前にそれっ!一石をパチリ。白? 黒?



新しい写真を投稿してください。スナップ歓迎  
写真は紙面を楽しくします。デジカメでどんどんメール添付でお送りください。

## 練稲ゴルフ部会・最大のサークル

平成24年度は上期は3～6月度で4回の月例コンペを予定しています。今年度初のコンペは3月27日に埼玉県鳩山カントリークラブで開催しました。75歳以上のグランドシニアが10名、女性4名を含む38名(10組)のコンペ。個人優勝は剣持典夫氏、ベストグロス賞に大堀博之氏、シニア賞に中島晴喜氏、レディス賞に土屋敏子氏。昨年10月度の第125回記念大会の成功を機に幹事10名の新体制をとり、会員の管理や運営も一層充実して、参加者も増えつつあります。当部会は練稲各種のサークルのリーダーとの自負を新たにしています。

### 24年度上期スケジュール

- ◆3月27日(鳩山C/C・中島幹事)実施済み
- ◆4月18日(入間C/C・塩田幹事)
- ◆5月17日(飯能グリーンC/C・高崎幹事)
- ◆6月13日(武蔵の杜C/C・西山幹事)

ゴルフ部会は今後とも練稲各種サークルのリーダーとしての自負を新たに、スケジュールを実施して行くつもりです。なお、第132回(9月度)は過去2年間の月例優勝者16名によるナンバーワン決定戦、改定新ハンディによる月例会のダブルコンペを予定しています。



腕に自慢のゴルファーが集合

## パソコン教室・世界に繋がった

### アフリカと交信しました

初心者から、エクセルはもとより「スカイプ」での映像付き交信まで、この1年で抜群の進歩。アナログ時代よさらば。早稲田が誇る「理工系」の先生が実際に「デジタル教育」。その甲斐あって、この新会報もパソコンで編集できるまでに。「スカイプ」は会員同士の交流を強めた。会員の木村慶子さんは、すぐさま地球の裏側のアフリカ・モザンビーク在住のご子息を呼び出し、お互いに顔を見ながら会話。窓から見る海の景色などを映しだし、パソコン教室の成果を喜んだ。パソコン教室の会員は、練馬稲門会の運営、記録、管理をデジタル化する作業に一役買っている。将来は、会員同士のメール連絡の「核」にと努力している。暑中見舞いはおそらくパソコンが主流に。デジカメ、名刺作成など中身は多彩。参加希望者は毎週木曜日午後1時半に練馬稲門会事務所に集合。

## ディナータイム・コンサートへどうぞ

桜台駅近くの花に囲まれた喫茶店「チャーミー」で楽しいひと時を。昨年スタートした新しい部会です。2～3カ月のサイクルで開催。これまでに「カンツォーネ」「落語」「島歌」「ハーモニカとギター」のコラボレーションと何でもありの企画で好評。25人程度で満杯。皆さんの楽しい「企画」をこの喫茶店で実現して見ませんか。思いついたら「山田興太郎」まで連絡を。

## 会報・練稲Pressに投稿大歓迎

従来の会報は、これまでどうり総会時に発行します。この新「練稲Press」はサークルの活動を広げ、新しい会員を増やしてゆくための皆様のメディアです。楽しいサークルが新しい友人を増やします。どうか原稿(エッセー)・写真をお送りください。楽しみましょう。(編集委員会)

## 早稲田スポーツを楽しむ会

### 勝負は勝たなければ

野球の早慶戦、ラグビーの早明戦、正月の箱根駅伝など「応援」もくたびれる。でも、思い切り「楽しめる」我が母校。今年から野球の早慶戦は春季リーグ戦も観戦します。日程は第一試合が6月2日(土)第二試合は同3日(日)。座席はネット裏の特別指定席を世話人で元野球部OBの富塚会長が手配します。観戦申し込み案内は近日中にご案内いたします。

それにしても、去年は野球は負け、駅伝は都心に入ってから明治に追い越されて残念。早明ラグビーはロスタイムに逆転と言う「感動」をプレゼントしてくれました。今年こそ「気合い」で頑張れ。!

### 早慶戦で校歌斉唱



## カラオケ愛好会・歌えば止まらず

歌えばもうマイクを放せない。3月の定例会で何ともはや30回を迎えました。現在会員は32名。毎月第3月曜日午後4時から7時まで、常時7~8人が参加して楽しんでます。会場は西武池袋線の中村橋駅に近いパブ「けやき」で思い切り歌って楽しめます。たまたま同店は月曜が定休日、貸し切り状態。毎年夏と冬に「暑気払い」忘年会・新年会を開く。会場を変えて「クローバー・1(ワン)」と言う店で、広いフロー、音響効果も抜群で気分良く歌ってもらいます。

## テニス部会・練馬シニアテニス協会に加盟

2000年に発足して今年で12年目。6~7人だった会員も今や37人を擁するまでに。ただコートを確認するのが難しい。月例会は、抽選で「区営コート」を利用、比較的倍率の低い「土支庭球場」を加えて2面で活動。確保難を知った荻野会長の努力で、学院コートが使えるようになり、春秋2回部内優勝大会が出来るようになりました。部員の努力で毎年4~5人の会員増が続いています。今年は夏のベルデ軽井沢合宿、杉並稲門会との交流試合と多彩。区内10サークル(130人)で構成される「シニア協会」に加盟して親睦大会も。

## グルメ会・美味に酒に大満足

3月28日に、23回目の「グルメ会」を練馬駅北口の「あわび亭」で開きました。幹事持ち回りで、定員いっぱい19人が出席。伊勢海老、アワビの盛りだくさんの料理に満足。お酒も進み4時間の盛り上がり。次回は小野氏が幹事で、どんなお料理が。和食、フランス料理、イタリアンなど贅沢なお楽しみが待っています。



「あわび亭」で十分満足なお料理を楽しんだ。写真のお顔をみれば一目瞭然です。スナッフ写真は正直です。

各サークルの予定はホームページで速報しております。アドレスは下記の通りです。練稲Pressと合わせてご利用ください。「ホームページ」「練稲Press」は皆様の活動を横につなぐメディアです。ご意見を大歓迎いたします。宜しくお願いします。

<http://nerima.waseda-info.com/>

## 酒楽会・酔然として語る面々

昨年10月に志高く「杯」を挙げて早くも半年。今年3月末で4回の「酒楽会」を開きました。「酒は百薬の長」。強い人も弱い人もマイペースで卓を囲んでの人生の来し方行く末を語り合うのは一興。

定例会は本来春と秋の二回。第一回の「酒楽会」を開いたところ「毎月やろう」との意見が多く、通称「ミニ酒楽会」を毎月開くことに。「酒は好い!」んでしょ。会場は西武池袋線・石神井公園駅南口・「稲田屋・石神井公園店」です。お店のご協力もあって、飲み放題付きのお料理も盛りだくさん。日本酒「稲田姫」との出会いに皆さん夢見心地。日程はホームページで御連絡します。お忘れなく。

酔っても日程はお忘れなく。

## エッセー同好会・文豪揃って満杯

### 悠々と朗読・昔は「音読」だった

決して「文章教室」では有りません。自分の作品を持ち寄って発表するスタイルの活動。稲門出身者は皆さん文章に巧み。ことさら取り決めもなく自由な雰囲気があります。

随筆・論説文・小説・自分史など何でもよく、発表方法は「音読」。会員が増えても黙読とか事前配布はしないのが決まり。「声」にして読むことを大切にしている、この発表形式は日本の古来の伝統です。

それだけに作品発表に時間がかかり、もはや満員盛況の状態。「欠員待ち」のうわさも飛んでいる。皆さんも「書く」喜びと「音読」の楽しみを知ってください。書いて、読んで青春を取り戻そう!

◆「大隈侯昔日譚」に「一藩の人物を悉く同一の模型に入れ自由闊達の気象を亡失せしめた」と出自である肥前藩を嘆いている。肥は、全藩の子弟を組織化して半問を詰め込んだ。落第した者は家禄を削った。後に老侯が早稲田大学を創立した背景にはそんな「肥」に対する反発もあったのか。◆「出自」を重要視する気風は「朱子学」の底にある。必要以上に出自を重んじる弊害は韓国を見ればいい。日本の歴史でも、「藩閥」は政治を翻弄させてきた◆「出自」の一つに「学閥」もある。「東大閥」は官僚を占拠した。「母校」にこだわる気風はそれに似ている。「稲門会」は学閥ではないが、奇妙な「団結」もある。大隈侯はどう思うか。(順)

編集後記